

10月は、説明文・論説文の要旨を学ぶことによって、文章のなかで中心となる部分や筆者の意見はどこかを、文章全体の構成をもとにして考えることができるようになることが目標です。

物語では、場面や暗示・象徴、心情の変化、主題を通して、物語全体の話の構成や心情の移り変わりなど、文章全体に目を向けて内容をとらえていくようになることが目標です。

また語句単位では同音異義語・同訓異字、重箱読み・湯桶読みを通して、漢字や熟語の知識を深めていき、和語や複合語、ことわざなどを学び、言葉の知識を広げていくことが目標です。

覚えることがたくさんあって大変かもしれませんが、どれも大切なものばかりです。じっくりと取り組んで確実に身につけていきましょう。

◆第6回 説明文・論説文 要旨②／同音異義語・同訓異字

前回に引き続き、「要旨」を読み取ることに取り組みます。今回は読み取った内容をもとに、要旨をまとめることにも取り組んでいきます。要旨をまとめる時は、「何について（序論）」「どのような理由で（本論）」「どんな考えを述べているか（結論）」のイメージを持って考えると効果的です。

また、「読む」「書く」ツールでは「同音異義語・同訓異字」を学習します。同じ読みで異なる漢字を用いる言葉のことを指し、文全体を見てどのように使っているのかが手がかりになります。漢字の意味・用法に注意して、しっかりと覚えていきましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章¹・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁴

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の²（文章題）・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・¹～³

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第六回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章¹・・・オプション 探求

文章²・・・1～3 ※動画内で解説しています。

◆第7回 物語 工夫された場面／重箱読み・湯桶読み

今回から物語の学習となります。物語を読む際には登場人物や場面に注目して全体をつかむことが大切です。今回は場面分けに着目しながら「工夫された場面」について考えていきます。「回想」「幻想的場面（現実ではありえないことが起きる場面）」などの場面がどのような意図で使われているのかを考えてみましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「重箱読み・湯桶読み」を学習します。音読みと訓読みの組み合わせを考えることに取り組めますが、「どの読みが音読みか」などを考えずに学んでいることも多いため、この機会に辞書などを使って漢字の読みについて丁寧に見直してみると良いでしょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・1～2

「読む」「書く」ツール・・・①～③

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・①～④

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第七回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション 探求

文章②・・・1～4 ※動画内で解説しています。

◆第8回 物語 暗示と象徴／和語・漢語・外来語

今回は、「暗示と象徴」に取り組めます。「暗示と象徴」とは、出来事や心情などをはっきりと表さずに、それとなく示すような表現やある特定の意味がこめられた物事を使って表現することです。文章全体の話の流れから、書かれていないことや心情を読み取るという作業が求められます。映画などの映像作品でも用いられている表現技法ですが、「なんとなく伝わった」ことを言葉にして説明する、というのはなかなか難しいものです。「何（だれ）が」「どんなことをしたか」など、文章に書かれていることを丁寧にとらえて考えていきましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「和語・漢語・外来語」を学習します。いずれの言葉も言葉の意味を「知る」ことが第一になります。特に「和語」は普段の会話などで使うことが少なくなっているため、意味を知らない言葉も多いかもしれません。辞書を使っても構いませんので、どんな意味を持っているのかをしっかりと確かめながら取り組みましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・①～⑤

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・①～②

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第八回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章¹・・・オプション 探求

文章²・・・1～6 ※動画内で解説しています。

◆第9回 物語 心情の変化／複合語

今回は「心情の変化」に取り組みます。心情は「出来事・心情・行動」のつながりをもとに考えていくことが大切ですが、物語全体では、話が進む（出来事の変化）につれて、心情も変化していくものです。どのような出来事をきっかけにして、どのように心情が変化したのかをとらえましょう。また、心情の変化を説明するために、「はじめは～（出来事）、（心情）だったが、（出来事＝変化のきっかけ）があって、（心情）に変化した」という文の形をイメージしてまとめることも大切です。テストで答えの書き方が指示される場合もあります。注意するようにしましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「複合語」を学習します。「複合語」は、言葉と言葉を組み合わせたものを指しますが、「山登り」「受け取る」「お茶」「○○さん」など日常的に使われている言い方も多く、意味や使い方にも注目して言葉の知識を広げましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章¹・・・★の問題（「ぼく」「ヨウイチくん」の心情の変化をまとめる問題）

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁴

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の²（文章題）・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁵

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第九回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章¹・・・オプション 探求

文章²・・・1～6 ※動画内で解説しています。

◆第10回 物語 主題／慣用句・ことわざ・故事成語

物語のまとめとして「主題」に取り組みます。「主題」は文章中に明示されているものではなく、話の展開や心情の変化など、様々な手がかりをもとに読み取っていくものとなります。皆さん自身の物語を読んだ後の率直な思い（感想）も主題の理解につながることもありますので、「国語の読解」と身構えすぎずにいろいろな文章に触れてみてください。

「読む」「書く」ツールでは「慣用句・ことわざ・故事成語」を学習します。どれがことわざで、どれが慣用句かと、それぞれを分類する必要はありません。言葉の形や意味・使い方をしっかりと覚えていくようにしましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章¹・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・**1**～**5**

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の**2**（文章題）・・・1～5

「読む」「書く」ツール・・・**1**～**3**

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第十回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章**1**・・・オプション シナジー

文章**2**・・・1～5 ※動画内で解説しています。

5年生後期で学習する単元は、入試問題でもよく出題される単元ばかりです。特に10月に学習する「比」の単元は他の単元とも融合されることになります。しっかりと取り組んでがんばっていきましょう。各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第6回 割合と比 比の意味と操作②

第5回で学習した内容を理解したうえで、「比例配分」「逆比」に取り組んでいきましょう。特に「逆比」の関係が成り立つのは、「積が一定である2量の関係」です。イメージをつかみながら理解を深めていきましょう。「比」を扱うにあたって、仮定して考えることは、正答にたどりつく近道でもあります。ただし、ここでも「比」であらわされた数なのか、「実数」なのかを理解しておこう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～③ 知識技術①～⑥

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～⑥

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法⑧, ⑩

栄冠への道・・・学び直し③②, ④

ひとりで問題と向きあうための準備①～⑥

◆第7回 割合と比 文章題と比

比を利用する文章題として分配算・倍数算・平均算を学びました。分配算は線分図を利用しながら大小関係を表わすことが大切です。倍数算では、「変わらないもの」に注目することによって等しい比が見えてきますね。また、平均算では、逆比の関係を理解しながら取り組んでいきましょう。いずれも、注目する比はどこなのかを明確にしておきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～③ 知識技術①～⑥

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～⑥

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法②, ④, ⑤

栄冠への道・・・学び直し③①, ②, ④, ⑤

ひとりで問題と向きあうための準備①～⑦

◆第8回 割合と比 濃度

濃度とは、食塩水の重さに対する食塩の重さの割合のことです。まずは、割合の関係が中心になりますね。大切な視点は、常に食塩の重さを明確にしていくことです。

しかし、混合する問題では、食塩の量が分からないものもあります。この場合は面積図を利用して、食塩水と濃度の比の関係を利用します。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～③ 知識技術 1～6

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～5

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法1, 2, 4

栄冠への道・・・学び直し③1, 4

ひとりで問題と向きあうための準備1～5

◆第9回 平面図形 底辺比と面積比

平面図形に比の視点をいれて問題に取り組みます。ここでは、具体的な公式を利用して面積を求めるのではなく、底辺の長さの比と面積の比が対応することを利用して取り組みます。そのときには、三角形の底辺は3つの辺がどれも候補になること。共通な辺が高さの役割をしていることを強く意識して取り組んでいきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～③ 知識技術 1～6

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～4

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法2, 3

栄冠への道・・・学び直し③1, 4, 5

ひとりで問題と向きあうための準備1～4

◆第10回 平面図形 ～相似比と面積比～

大きさはちがうが、形は同じ図形どうしの関係を「相似」といいます。大きさがちがうことになるので、2つの図形の大きさの関係を表わす必要があります。長さについて表したものが「相似比」となり、そこから発展し、面積について表したものが「面積比」となります。相似な図形は平行の関係が見えたり、直角三角形が見えたりすると、かなりの確率で出てきます。第9回で学習した底辺比を利用する融

合問題も多く出題されますので、合わせて学習していきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～④ 知識技術①～⑥

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～③

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法①, ④

栄冠への道・・・学び直し③①, ③, ⑤

ひとりで問題と向きあうための準備①～④

発展講座で扱う問題は応用力を必要としますので、問題によっては難しいと思いますが、動画を見ながらしっかりと学習していきましょう。

◆第6回 割合と比 比の意味と操作②

比を使った文章題を解いていく上で、「比例配分」はよく使う手段です。基本操作だけでなく、自由に扱えるようにしていきましょう。「逆比」とは、それぞれの項の逆数の比です。単に入れかえればよいと理解してしまうと、3項以上のときは使えなくなってしまう。しっかりと理解をして、取り組むようにしてください。比が自由に扱えるようになると、算数の解法は一気に広がります。大きく伸びるチャンスなので、がんばっていきましょう。

◆第7回 割合と比 文章題と比

今回学習した「面積図」を利用した解法は、必ず習得してください。平均だけでなく、第8回で学習する食塩水の問題でも使用しますし、さらに数多くの比の問題で使用していきます。ただし、結局は積が一定ならば、2つの要素は逆比の関係になることを利用しています。これが理解できると、解法が飛躍的に増えますので、がんばってください。

また、今回のテーマの「倍数算」では、文章をしっかりと読み、「一定なものは何か」をとらえていきましょう。この単元は入試でも頻出の単元です。きちんと理解し、学力をつけていきましょう。

◆第8回 割合と比 濃度

今回の「濃度の3用法」は、「割合の3用法」と同じです。異なる問題と考えるのではなく、「濃度とは、食塩水全体の重さに対する食塩の重さの割合である」と考えて、割合と同じ手法で理解してください。食塩水の問題は、食塩の重さを中心に解いていくのですが、問題によっては、「面積図」を使用したり、「やりとりの問題の中で比例配分」を使用したり、比の基本手法がよく使われます。これらの考え方が難しいなと感じたら、第6回・第7回にもどって、復習するとよいでしょう。

◆第9回 平面図形 底辺比と面積比

今回のテーマは、「高さが等しい三角形においては、底辺の比と面積の比は等しい」ということです。つまり、基準は三角形となります。四角形も2つの三角形が組み合わさった図形であると考えていきましょう。ただし、三角形の底辺が必ずしも下にあるとはかぎりません。数多くの問題にあたることで、感覚を身につけていきましょう。

今回、しっかりと学習しておくことで、第10回で学習する「相似」も理解が深まります。がんばっておきましょう。

◆第10回 平面図形 ～相似比と面積比～

相似を使った問題は入試問題では頻出です。必ず定着をはかるようにしましょう。そのためには、平行線を見つけたら、「相似な三角形はないかな」と確認しながら図形をみていきましょう。

相似な三角形には「ピラミッド型」「砂時計型」があります。(6年生ではもう少し学習します) 対応する「辺の長さ」や「角の大きさ」はその都度確認していきましょう。

また、前回の単元との融合問題で、高さの等しい三角形においては、「底辺の長さの比」と「面積の比」が等しいことを利用する問題も多く出題されます。前回の復習も取り組んでおきましょう。

まわりの景色もすっかり秋色に染まり、学習しやすい時期になりました。10月の理科では「地球の動きと星の動きの関係」「気体の性質・水素の発生量・環境問題」「燃焼」「濃度と溶解度」「中和と化学反応」について学習します。健康には十分に気を付けて、味覚の秋、勉学の秋を楽しみましょう。

◆第6回 地球の動きと月の動きの関係

地球の自転や公転と、地球から見た月の満ち欠けとの間にある関係を学習します。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

- ・地球から見たときの、月の見える方角・月の形・時刻の間にある関係を理解しよう。
- ・日食、月食の起こる仕組みを理解しよう。
- ・地球から見たとき、月の裏側の見えない理由を理解しよう。
- ・月の満ち欠けの周期と、公転周期が異なる理由を理解しよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第7回 いろいろな気体と化学反応

身の回りにある気体の様々な性質と、2種類の薬品を混ぜて水素を発生させる方法、そして、薬品の量によって水素の発生量がどのように変化していくのかを、今回の授業で学習します。

一つひとつの気体の性質を正しく覚えること、また、水素の発生量の変化は規則性を見つけ出すことが大切です。発生量を求めるときにはミスをしないよう、丁寧に計算しましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

- ・身の回りにある様々な気体の性質を覚えよう。
- ・水素の発生するしくみを理解しよう。
- ・水素の発生量を、実験結果をもとに計算してみよう。
- ・地球温暖化の原因や被害、また、オゾン層の破壊などの環境問題について学びましょう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第8回 燃焼とは

ものが燃えるときに起こっている変化について学習します。物質同士の結びつきや重さの変化、ろうそくが燃えるときに見られる炎の様子など、細かい点まで注意することが大切です。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

- ・燃焼の三条件を覚え、火が消えるときにどのようなことが起こっているのかを考えよう。
- ・燃焼の前後で、反応に関係する物質の重さの合計が変化していないことを理解しよう。
- ・燃やす物の重さが変わるとき、燃やした後にできる物の重さがどのように変わるのか計算で求めよう。
- ・ろうそくが燃えるときにどのような変化が起こっているのか理解しよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第9回 濃度と溶解度

水に他の物質がとけた液のことを水溶液（ようりゃく）といいます。たくさんの物質をとかすと、液は濃くなり、水を多くすると、液はうすくなります。このとき、どのくらい濃くなったのか、また、うすくなったのかを計算で求められると、いろいろな比較をしやすくなります。

また、温度によって水にとかせる物質の重さには限度があり、この限度のことを溶解度といいます。温度や水の重さを変えたときに、水溶液にどのような変化が起こるのかを考えてみましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

- ・水溶液の濃度を計算で求めてみよう。
- ・水溶液を「〇倍にうすめる」ときの、濃度の変化について考えよう。
- ・2つの水溶液を混ぜたときの濃度を求めよう。
- ・溶解度をもとに、温度が変化した時に出てくる結晶や、さらにとかせる量を計算で求めよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第10回 中和と化学反応

水に様々な物質の溶けた液を水溶液といいます。この水溶液の性質のうち、酸性のものとアルカリ性のものを混ぜると、中性という別の性質になることがあります。このような反応を中和反応といいます。

中和反応が起こるとき、液体の中でどのような反応が起こっているのか考えてみよう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

- ・ 代表的な 10 種類の水溶液の性質を覚えよう。
- ・ 中和反応の仕組みを理解しよう。
- ・ いろいろな中和反応の例を調べてみよう。
- ・ 混合したものに、液体を混ぜて分離する方法について考えよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第6回 貴族から武士の世の中へ

- ①では、武士の登場について学習します。平将門、藤原純友が朝廷に対して反乱をおこします。
- ②では、武士である平氏が権力をにぎっていくようすを学習します。保元の乱や平治の乱を経て、平清盛が太政大臣になります。「コラム」や「歴史散歩道」も読んでおきましょう。
- ③では、鎌倉幕府の成立について学習します。源頼朝が鎌倉に幕府を開くまでの、いわゆる「源平合戦」や、鎌倉に幕府をおいた理由を確認しておきましょう。「コラム」や「社会探検」を読み、「オプション探求」にも取り組んでみましょう。

【これもおさえておこう！】

📖 オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

📖 日本史資料集 P14～P17、P64⑩P66 を参照しましょう。

◆第7回 外国から攻められた日本

- ①では、鎌倉幕府内で北条氏が権力をにぎり、いわゆる「執権政治」をおこないます。その過程でおきた承久の乱は入試によく出題されるところです。「社会探検」などを読み、幕府と朝廷の力関係が乱後どのように変化したのか、理解しましょう。
- ②では、元寇について学習します。入試問題でよく出題されることです。元寇が日本にあたえた影響を、「コラム」を読み、竹崎季長の行動から考えてみるのもよいでしょう。
- ③では、鎌倉時代の農業や商業、文化、仏教について学習します。冒頭の「一遍上人絵伝」には、生き生きとした定期市のようなようすが描かれています。一人一人が何をしているのかと思いをはせてみてください。
- ④では、鎌倉時代の文化について学習します。文学は平家物語、建築は運慶・快慶などによってつくられた金剛力士像をおさえましょう。仏教については、これまでの仏教との違い、どのような人々に広まったか、大きく3つに分かれる事を確認しておきましょう。

【これもおさえておこう！】

📖 オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

📖 日本史資料集 P18～19、P67～P68、P70～71 を参照しましょう。

◆第8回 立ち上がる農民たち

- ①では、建武の新政から室町幕府成立の過程を学習します。後醍醐天皇と足利尊氏について確認してください。
- ②では、室町幕府の全盛期を築いた足利義満について学習します。また「コラム」を読み、義満の頃には「北山文化」と呼ばれる文化が花開いていたことを理解しましょう。
- ③では、室町時代の農業の発達について学習します。力をつけた農民が自立していく過程をおさえましょう。一揆をおこすまでに成長していくことに驚きますね。また「コラム」を読んでおきましょう。

【これもおさえておこう！】

📖 オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

📖 日本史資料集 P20、21、P72～P73、P76 を参照しましょう。

◆第9回 戦乱の世の中

- ①では、応仁の乱やその後の日本のようすについて学習します。いわゆる「戦国時代」に突入します。また足利義政の頃には「東山文化」と呼ばれる文化が発達します。「コラム」や「社会探検」を読んでおきましょう。
- ②では、戦国大名について学習します。「コラム」を読み、信玄堤と呼ばれる堤防がつくられた理由を考えると、武田信玄をはじめとする戦国大名の姿が少し違ったものになりませんか。
- ③では、鉄砲・キリスト教の伝来と南蛮貿易について学習します。鉄砲・キリスト教の伝来は当時の日本にどのような影響を与えたかを理解しておきましょう。

【これもおさえておこう！】

📖 オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

📖 日本史資料集 P22～P23、P74～P75、P77 を参照しましょう。

◆第10回 戦乱を終わらせた人たち

- ①では、織田信長がおこなったことについて学習します。重要事項を年代順に確認しましょう。
- ②では、豊臣秀吉がおこなったことについて学習します。とくに検地と刀狩について、その目的をしっかりと理解しておきましょう。
- ③では、徳川家康がおこなったことについて学習します。関ヶ原の戦いは今の岐阜県で戦われました。江戸幕府については次回で学習しますので、今回は織田信長、豊臣秀吉、徳川家康がおこなったこ

とについてきちんと整理しておいてください。

【これもおさえておこう！】

📖 オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

📖 日本史資料集 P22～P25、 P81③⑧、P82③⑨、P83④⑩